

鎌倉公園ワークショップ

ニュースレター vol.2

令和元年12月20日(金)発行

現在小平市では、鎌倉公園の整備を検討しています。公園整備にあたり、利用される皆様が使いやすい公園になるよう地域の皆様のご意見聞くためにワークショップを実施しています。

公園の必要性

- ・鎌倉公園は、小平市のほぼ中央に位置し、行政機能が集中しながらも郷土的な空間が共存する地区に計画されています。
- ・北は青梅街道、南はたかの街道と広域的な交通利便性も良いことから、整備されれば、緑の拠点としても、防災的にも重要な拠点になると考えられます。
- ・小平の原風景である農地を守り、地域住民の健康な生活を送る環境づくりにつながります。

【他市の事例】

小平市で策定している計画の位置づけ等から市では、「農業」を要素とした公園の整備を検討しています。

他自治体では「農業公園」をNPO法人等により運営している事例があります。



写真は武蔵野市立農業公園

第2回 ワークショップ

鎌倉公園の整備予定地に近い小川町二丁目地域センターでワークショップを開催しました。2グループで各テーマに沿って意見交換を行いました。

日 程:令和元年11月9日(土)

場 所:小川町二丁目地域センター

参加者:10名



市から説明

はじめに市から第1回ワークショップの振り返り等を行いました。

おもしろい意見が出たな

共通している意見もあるな



グループで話し合い

今回は、「農」でにぎわう公園「健康」や「防災」についての二つのテーマで話し合いを行いました。みなさん時間を忘れて活発な意見交換がされました。

発表

グループで出た意見を代表者が発表しました。「農」など普段馴染みのない方もいるテーマ設定のなか、いろいろな意見がでました。

主な意見

テーマ 「農」でにぎわう公園

🌳 グループ1 🌳

- ・野菜の直売所
- ・公園で採れたものを加工して名物にする
- ・子どもと大人が協力して野菜を育てる
- ・小平特産品を年間で種から育てて食べる
- ・農薬などが人に悪影響を与えない公園
- ・野菜などをモチーフにした遊び場

🌳 グループ2 🌳

- ・小・中学生が参加できる
- ・種蒔きから収穫まで一貫して体験できる
- ・学生と協力して野菜アートを行う
- ・農作物を作る映像コンテスト等による広報
- ・公園で採れた野菜のレシピコンテスト
- ・花のある公園

テーマ 「健康」や「防災」について

🌳 グループ1 🌳

- ・ヨガやワークショップ的なイベントを行う
- ・農器具をモチーフにした遊具
- ・足に優しい遊歩道
- ・断水しても使用できるトイレ
- ・仮設トイレのためのスペース
- ・休んだり食事ができる場所

🌳 グループ2 🌳

- ・子どもの遊びと大人のトレーニングを兼ねた器具
- ・遊歩道に高低差をつける
- ・休憩所設置等により日陰を作り熱中症対策
- ・防災用倉庫
- ・公衆電話
- ・防災の日などに訓練を行う

主な共通意見

- ・多くの世代が参加できる
- ・農業体験ができる
- ・休憩所の設置(熱中症対策や食事処)
- ・特徴のある遊具
- ・使いやすい遊歩道
- ・防災用品等の備蓄

今後のワークショップ

- 第1回 令和元年 9月28日(土) **開催済み**
- 第2回 令和元年11月 9日(土) **開催済み**
- 第3回 令和2年 1月25日(土)

【問合せ】
小平市 環境部 水と緑と公園課
緑化推進担当 042-346-9830

